別表第１　補強コンクリートブロック造の塀又は門柱の判断基準（第２条関係）

|  |  |
| --- | --- |
| 判定区分 | 判断基準 |
| １　高さ | 2.2m以下 |
| ２　厚さ | （高さ2m以下の場合）10cm以上  （高さ2m超2.2m以下の場合）15㎝以上 |
| ３　控え壁 | （高さ1.2m超の場合）長さ3.4m以下ごとに、高さの1/5以上突出した控え壁あり |
| ４　基礎の有無 | コンクリート造の基礎あり |
| ５　基礎の根入れ深さ | （高さ1.2m超の場合）30cm以上 |
| ６　劣化状況 | 著しい傾きやひび割れがない |
| ７　鉄筋の有無 | 内部に直径9㎜以上の鉄筋が、縦横とも80㎝以下の間隔で配筋されている |
| ８　鉄筋の定着 | 縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされている |

別表第２　組積造の塀又は門柱の判断基準（第２条関係）

|  |  |
| --- | --- |
| 判定区分 | 判断基準 |
| １　高さ | 1.2m以下 |
| ２　厚さ | その部分から壁頂までの垂直距離の1/10以上 |
| ３　控え壁 | 塀の長さ4m以下ごとに、厚さの1.5倍以上突出した控え壁あり |
| ４　基礎の有無 | コンクリート造の基礎あり |
| ５　基礎の根入れ深さ | 20cm以上 |
| ６　劣化状況 | 著しい傾きやひび割れがない |

別表第３　鉄筋コンクリート組立塀の判断基準（第２条関係）

|  |  |
| --- | --- |
| 判定区分 | 判断基準 |
| １　劣化状況 | 著しい傾きやひび割れがある |